

堅牢地神塔  
東神奈川道  
南大山道  
北八王子道  
文久元年(1861)

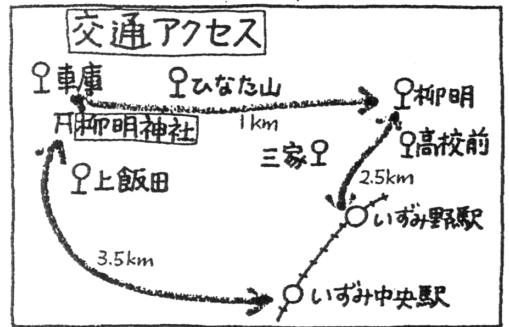
鎌倉上の道は  
相沢川に沿う道と  
台地上に向かう道と  
が考えられている

庚申塔  
左ハ大石どう道  
右ハほしのや道  
延享3年(1746)

堅牢地神塔  
右かまくら道  
左かながわ道  
安政4年(1857)  
(飯島家内)

庚申塔  
北八王子道  
東かしを  
西あづき  
南ふじさわ道  
明治9年(1875)

庚申塔  
此方とつか道  
此方□道  
文政7年(1826)



鎌倉道(北側)に  
沿って約7km

上飯田  
ひなた山  
方面

# 泉区 古道散策 マップ

柏尾通り大山道



持田製糸跡  
千束橋跡

大山道と書かれた  
石碑があるという

大山道

下へ下りる道と  
直接無量寺へ入る道  
とが考えられている

無量寺

矢澤工業

けやき公園  
(トナリあり)

中和田公園

かずもり  
稲荷

## Ⅱ 鎌倉道（北側）に沿って……上飯田・日向山方面

上飯田・日向山には南北に鎌倉道、大山道が走っているほか、坂東観音札所巡りの人たちのための「ほしやの道」、鎌倉郡観音札所巡りの人たちのための「大石堂道」があり、更には近世産業の発展に伴う神奈川道なども観察できる。下飯田・下和泉地区同様、明治中期から昭和初期にかけて養蚕業、製糸業、養豚業などが栄え、戦後は都市の近郊農村として野菜作りが盛んで都市へ出荷している。昭和40年代にはいり、住宅や工場が進出し人口も急増し農業も変化している。

### ①中和田公園（各碑） 和泉町3496付近

忠魂碑 陸軍大将乃木希典筆 再建碑は山田豊次郎筆  
石井広助之碑 乃木希典筆 父は神奈川県会議長  
山田専成頌徳碑 海軍大将伯爵樺山資紀筆  
山田豊次郎顕彰碑 神奈川県知事内山岩太郎筆  
持田初次郎君頌徳の碑 清浦圭吾筆

### ②かさもり稲荷 上飯田町1094

古道マップ（I）下飯田・下和泉の部参照

### ③無量寺 上飯田町1112

浄土宗。境内に名木古木指定の大きなイチョウ、板碑、六地蔵、畜霊塔、念仏塔などがある。念仏塔の台座は「大山道」を示し、かつてあった道者の墓は房総の住所を示すなど、大山道との関連が深い。

### ④小曲寺跡 上飯田団地バス停「児童公園」傍。

かつての小曲家（近所の旧家）一族の菩提寺。

### ⑤神明社 上飯田町1862

祭神・天照皇大神。上飯田団地の造成のさい、現在地に移転。神社横の渡井幹雄氏邸のイヌツゲは名木古木指定。

### ⑥飯田神社 上飯田町2517

かつてのサバ神社の1つ。名木古木ヤブツバキ。鳥居付近に庚申塔、道祖神、地蔵、観音など多数の石仏がある。境内からは縄文中期の注口土器が出土。

### ⑦中屋敷天満宮 上飯田町3629

祭神・菅原道真。  
天満宮下の持田ストア一前に道祖神、二十三夜塔がある。

### ⑧本興寺 上飯田町3624

かつて鎌倉にあったが、江戸幕府の日蓮宗弾圧を避けてここに移転。仁王門や本堂の釈迦・日蓮・日什の一代記を描く彫刻が有名。名木古木イトヒバ。境内に題目塔がある。

### ⑨羽太資料館 上飯田町3590

鎌倉街道、近隣の民俗資料など多数を展示。集会にも使える。現館長羽太俊一氏が資財を投じて開設。  
近くの地名、五軒庭には徳川綱吉の生類哀れみの令による弾圧を受けた羽太一族の悲しい歴史が秘められている。

### ⑩石井仁左衛門翁の碑 上飯田町4129

柳明の人。上飯田村戸長、中和田村村長、神奈川県会議員、同議長などを務め、明治23年鎌倉倶楽部を結成。

### ⑪柳明神社 上飯田町4579

もとは「大石寺」というお寺。鎌倉郡観音24番札所として巡礼の対象であった。明治初年に廃寺。  
現在の神社はその跡に日向山にあった「お伊勢宮」をここに移転したもの。境内には、六地蔵、庚申塔、従軍碑など。神社の北側に地神塔（神奈川道・大山道の道標）、西側の道路沿いに道祖神2基がある。

### ⑫六道の辻 瀬谷区宮沢町

台地の畑の真ん中に6本の野道が集まる珍しい景観の地。無人の地だったものを領主が住民を移動させて開拓した旨の説明板が立っている。六道とは、仏教の言葉で、人は皆善悪の業によって6つの迷界（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上）におもむき、住むといわれる。

### ⑬日枝神社 和泉町7445

祭神・伊弉諾尊・伊弉冉尊・大山咋命。境内に地神塔や御岳社の祠などがある。

この付近の集落を三家（さんや）という。昔は石井・石川・横山の3軒しかなかったというのが語源だとか…。

近くの新幹線ガード先に六地蔵、道祖神、庚申塔など、バス停柳明付近には破損の進んだ庚申塔が立っている。

### ⑭八幡神社 和泉町6287

祭神・応神天皇。元亀年間（1570～73）に汲沢の郷士・森織部義秀によって創建されたと伝えられることから、「織部八幡」と通称される。最近、不審火にあって建て直された。神社裏の路上に地蔵、庚申塔がある。

### ⑮横山製糸跡 和泉町6414

織部八幡から和泉川の宮西橋を越えて西に出た主水分（もんとぶん）には横山姓の数軒の旧家がある。そのうちの1軒が、かつて旧泉区領域に多かった製糸業の1軒、横山製糸であった家。

### ⑯長谷川伸の母の生家 和泉町6441

横山信夫氏邸は、「臉の母」で知られる長谷川伸の母親の実家。長谷川伸は当時、事情があつて母親とは別れ別れになっていた。昭和8年、三谷家に嫁いできた臉の母と47年ぶりに再会、当時の新聞は小説以上に奇遇であると大々的に報道した。長谷川伸自身も母親の死後、和泉町の母親の生家を訪れたことがある。